

2025年度「第3回北海道労済運動推進会議」報告

**2025年度重点共済新規加入目標 8,316件に対し、5,612件の実績
目標達成率 67.5%、基準進捗率 66.7%を上回る状況！**

「2025年度 第3回北海道労済運動推進会議」が3月9日(月)、ホテルポールスター札幌にて開催されました。

2026年1月末時点の重点共済の推進状況ですが、年間目標 8,316件に対して、新規加入実績 5,612件となり、目標達成率 67.5%となり、基準進捗率 66.7%を上回る状況。

《 挨拶 》



北海道労済運動推進会議
議長 高倉 司

大変お忙しいなか、全道各地から第3回全道推進会議にご出席を頂き誠に有難うございます。

日頃から、各地域・職場で労済運動推進にご尽力を頂いておりますことに、敬意と感謝を表すところであります。

明後日 11 日で東日本大震災発生から 15 年が経過します。大きいもので直近では一昨年元旦に発生した能登半島地震、北海道においては 2018 年に発生した胆振東部地震などが上げられます。また、昨年は大規模な山林火災が多く発生しました。

住宅の火災は、普段から気を使っていれば防げますが、自然災害は、いつ・どこで発生するか予想もつかないもので、発生すれば甚大な被害をもたらします。私たち労済運

動推進会議はこくみん共済 coop と連携して各共済の推進、特に自然災害共済の加入促進に努力してきました。結果、8 か月終了時点の基準進捗率を上回ることができました。

防災減災の取組みも重要ですが、いざという時の保障を担保しておくことも大切です。引き続き防災意識を高める取組みを通じて共済加入促進に繋げていかなければならないと考えています。

さて、本日の会議は、こくみん共済 coop 北海道推進本部より 2025 年度の「事業状況報告」を頂いた後、議題として第三四半期終了直前の 8 か月間の「活動報告」及び「重点共済の推進状況」と、それを踏まえた「今後の推進活動」について提起させていただきますので、よろしくお願い致します。

なお、本推進会議には、「藤盛本部長」と「原山事務局長」にご出席を頂いております。後ほど、「藤盛本部長」より挨拶を頂き、「原山事務局長」からは事業状況報告を賜りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

2025 年度の事業推進状況ですが、「こくみん共済」「長期共済」「マイカー共済」「自賠償共済新規・継続」「火災共済」「自然災害共済」の 6 共済を重点共済と位置づけ取組みを進めて頂いていますが、「こくみん共済」と「自動車関連共済」が基準進捗率に達していない状況となっています。詳細につきましてはこの後「紺野事務局長」から提起して頂きますが、残りの期間で目標達成に向けて取組みを強化して頂くことをお願いするところです。

公式アプリの利用促進の取組みですが、本日までご出席の皆さんはすでに登録して頂いていること

と思いますが、2月末時点で1,403件と昨年度の総登録件数1,566件と比較すれば、後もう少し！と見えますが、今年度目標に対しては30%にも達していない状況です。

各共済だけではなく「公式アプリ」のダウンロード及びログインについても組合員に広く周知して頂くことを最後にお願ひし、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願ひいたします。

全体では47.3%で昨年度同時期が46.5%でしたので、顕著にはありませんが推進運動の前進が図られてきていると言えます。各支所・各ブロック推進会議の役員の皆さんと産別・単組の推進委員の皆さんに、感謝申し上げます。「ありがとうございます」

この後、上期の取り組み状況の詳細と、上期の状況を踏まえての「今後の推進活動」の考え方について、紺野事務局長よりご提起申し上げますので、引き続き、目標達成に向けてご奮闘いただくことをご要請申し上げ、推進会議の開催にあたってのご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願ひいたします。

《 挨拶 》



こくみん共済 coop 北海道推進本部
本部長 藤盛 敏弘

春季生活闘争の山番の大変お忙しい中お集まりいただき感謝します。

今年度も残り少なくなってきましたが、各地域・産別・単組において当会への各種推進活動について心より感謝申し上げます。

全体の事業状況については、代理店チャネルの自賠償の実績が大きく進捗しているが、全体的には、純減の状況から脱却していません。

経営の指標となる付加掛金収入の目標に対する進捗については、若干下回っている。

職域の運動目標である北海道労済運動推進会議の1月末現在の新規獲得目標の進捗については、基準値を0.8%上回っている。

各段階での推進活動に感謝します。なお、2月末の速報値によれば、基準値とほぼ同様の実績となっている。

年度末に向けて、各種キャンペーンを予定しているので、役職員一丸となって取り組みますので、ご協力をお願いしたい。

公式アプリを通じた社会貢献取り組みとして、「アプリでつながるたすけあい」として協同組合ネット北海道が行っている「子どもの居場所づくり応援基金」に対して、お米券500枚 250kg相当を2月18日に寄贈させていただいた。協力団体の皆さんのご協力に感謝します。下期についても同様の活動をしていきますので、ご協力をお願いします。



推進会議の様子



報告事項を提案する
こくみん共済 coop 北海道推進本部
事務局長 原山 一志



協議事項を提案する
北海道労済運動推進会議
事務局長 紺野 則仁

詳細な議案内容については、別掲の議案書を参照願います。

以 上

2025年度 第3回 北海道労済運動推進会議



日時：2026年3月9日（月）14：00～15：20

会場：ホテルポールスター札幌 2階 メヌエット

議 事 次 第

開 会

海野副議長

挨 拶

北海道労済運動推進会議

高倉議長

こくみん共済 coop 北海道推進本部

藤盛本部長

報 告

I. こくみん共済 coop 北海道推進本部 2025年度事業状況について

原山事務局長

議 題

I. 2025年度 活動報告について

紺野事務局長

II. 2025年度 重点共済の推進活動について

紺野事務局長

III. 2025年度 今後の推進活動について

紺野事務局長

IV. 2025年度 北海道労済運動推進会議 役員体制について

紺野事務局長

その他

「2025年度第3回北海道推進本部独自強化月間」

および「暮らしを応援！くるまの補償点検キャンペーン」について

渋谷課長

閉 会

海野副議長

<報 告>

I. こくみん共済 coop 北海道推進本部 2025 年度事業状況について

1. 目標に対する進捗状況について (2025 年 12 月末実績 : 7 カ月経過) 【別冊資料 P1~P3 左】

累計純増は件数▲4,606 件、▲531,563 口となっています。協力団体（職域）の口数は 12 月単月で▲41 千口で、累計でも慶弔・終身・団体年金共済以外は純減から脱却できておらず ▲282 千口となっています。居住域は、主にこくみん共済がこの間の傾向同様に単月▲100 千口で減少幅のさらなる拡大が影響し▲759 千口となっています。一方、代理店は、引き続き順調に推移し +507 千口で実績を牽引しています。結果として、全体としては依然として純減が続いている状況です。

	純増目標		2025年12月末累計純増実績		目標との差異	
	件数	口数	件数	口数	件数	口数
職域	▲ 8,240	▲ 488,900	▲ 2,689	▲ 282,628	5,551	206,272
居住域	▲ 2,415	▲ 167,146	▲ 4,436	▲ 759,297	▲ 2,021	▲ 592,151
代理店	1,655	486,046	1,918	507,521	263	21,475
合計	▲ 9,000	▲ 170,000	▲ 4,606	▲ 531,563	4,394	▲ 361,563

2. 前年同時期比実績について (2025 年 12 月末実績 : 7 カ月経過)

累計で+239 千口程度で前月 (+154 千口) よりさらに回復傾向にあります。協力団体（職域）は、件数は上回っていますが口数はチャンネルごとで唯一下回っています。居住域は、12 月単月のこくみん共済の減少幅は前月同様改善していないものの火災・自然災害共済が単月では純増していることもあり+54 千口と一定回復傾向にあります。代理店も、損害系共済（火災・自然災害・マイカー・自賠責共済）にて+188 千口（前月+142 千口）で順調に推移しています。

	2024年度		2025年度		前年同時期との差異	
	件数	口数	件数	口数	件数	口数
職域	▲ 3,436	▲ 275,831	▲ 2,689	▲ 282,628	747	▲ 6,797
居住域	▲ 4,868	▲ 813,353	▲ 4,436	▲ 759,297	432	54,056
代理店	1,175	318,655	1,918	507,521	743	188,866
合計	▲ 7,131	▲ 771,404	▲ 4,606	▲ 531,563	2,525	239,841

3. 「アプリでつながるたすけあい取り組み報告」について

【別冊資料 P3 右】

<議 題>

I. 2025 年度 活動報告について

1. 2025 年度活動報告について

2025 年度北海道労済運動推進会議は、労済運動の推進基軸母体として運動の前進をはかるべく、基本方針をふまえ産別・単組・ブロック推進会議と連携のうえ取り組みを進めてきました。

重点 6 共済を設定し、こくみん共済 coop と共に無保障者をなくし組合員に最適な保障を提案していくことを基調とした取り組みを展開しました。

2026 年 1 月末における重点共済の進捗状況ですが、年間目標 8,316 件に対し、5,612 件（進捗率 67.5%）となっており、基準進捗率である 66.7%を上回り年間目標達成ペースで推移し顕著に運動の前進が見てとれます。

こくみん Life サポート・セット共済 WEB 更新システム等新たなデジタル技術を活用した推進を展開し、多くの組合員との接点機会を繋ぐ取り組みを進めることができました。その結果、10 から 12 月に展開した住みいる共済の取り組みである「2025 年度第 2 回北海道推進本部独自強化月間」の目標達成をすることができ、さらなる取り組みの拡大をはかることができました。

さらに、保障設計運動における協力団体・組合員の保障の基盤となる団体生命共済についても、新規での全員一律加入や特約付帯等、労済運動の裾野の拡がり、普及促進が実感できる成果が得られた第三四半期までの状況となっています。

<2025 年度基本方針>

- 1 労働者共済運動の根幹である職域推進において、北海道労済運動推進会議と支店推進会議、ブロック推進会議との一体的な労済運動を展開し共済運動の基盤強化を目指します。
- 2 「7 歳の交通安全プロジェクト」「子どもの成長応援プロジェクト」等、社会課題解決（SDGs）の取り組みの周知活動を強化するとともに、「こくみん共済」「マイカー共済」の加入拡大をはかります。
- 3 近年の自然災害多発を受け、組合員を災害から守る取り組みとして、「無保障者をなくす取り組み」と「既加入者への保障点検活動」を継続するほか、防災士資格を持つこくみん共済 coop 職員による防災減災セミナーの開催等、有意な情報提供や啓発活動を強化します。
- 4 「公式アプリ」「こくみん Life サポート」について、組合員の利便性向上、組合員と労組とこくみん共済 coop を繋げる新たなサービスと位置づけ、積極導入を促進します。
- 5 保障設計運動の観点から協力団体の保障の基盤となる団体生命共済の一律加入の引き上げや特約の付帯等組織内保障の拡充に加え、「こくみん Life サポート」の利用による福利厚生制度の拡充の観点から取り組み要請を強化します。
- 6 自動車関連補償に関しては、組合員の可処分所得向上の一助としてのマイカー共済の取り組み（適用割引率の丁寧な周知と横断旗寄贈と連動した見積り依頼書の収集強化）とともに、自賠責共済の加入拡大をはかります。
- 7 産別、単組と連携し、将来にわたる労済運動の拡がりの観点から「保障セミナーの開催等」新入組合員対策を講じるとともに、これまでの共済利用の感謝と永続的な必要保障確保の観点から退職者対策を強化します。
- 8 たすけあいの輪をむすぶ、広げるため、「新規団体の紹介、新規組合員の紹介」活動を産別単組、ブロック推進会議、ブロック労福協との連携を強化し展開します。

2. ブロック推進会議等の開催状況

北海道労済運動推進会議として総会等に参加し、日ごろの労済運動への協力の御礼と向こう一年間の取り組みへの要請を行ってきました。

ブロック	総会等		
石 狩	8/7 総会	1/19 支店推進会議	1/27 幹事会
後 志	7/19 総会		
西 胆 振	8/1 総会	12/22 幹事会	
東 胆 振	8/5 総会	12/22 幹事会	
日 高	8/2 総会	12/16 幹事会	
空 知	7/29 総会	1/13 幹事会	
釧 路	7/28 総会	1/21 支店推進会議	
根 室	8/2 総会	11/22 幹事会	
十 勝	8/2 総会	11/29 推進会議	
網 走	8/2 総会	11/22 推進会議	2/7 幹事会
上 川 中	7/24 総会	10/15 支店推進会議	1/20 支店推進会議
上 川 南	7/11 総会	11/21 推進会議	
上 川 北	7/8 総会		
留 萌	8/1 総会		
宗 谷	7/26 総会	10/18 推進会議	
渡 島	7/17 総会	12/10 支店推進会議	1/30 拡大推進会議
檜 山	6/26 総会	11/27 拡大幹事会	

3. 勤労者福祉向上キャンペーンの取り組み

連合北海道（労働福祉対策特別委員会）・北海道労福協が主催する「勤労者福祉向上キャンペーン」と連携し、2025年9月1日～2026年1月21日に21産別・単組に対して労働福祉事業団体の利用拡大、推進強化の要請活動を行いました。

ブロック労福協への要請活動についても、4ブロック（後志・空知・釧路・上川）に実施をしました。

4. 生活保障設計運動（団体生命共済）等の取り組みについて

（1）「団体生命共済」の取り組み

協力団体とともに従来の死亡保障等、基本保障の充実のほか、特約付帯等組合員のための保障の基盤強化に取り組み保障設計運動の進展ができました。

2025年度 団体生命共済・慶弔共済 新規・増口 団体数/口数

7団体/18,185口

5. 領域拡大への取り組み

運動基盤拡大の観点から「新規登録団体」の拡大に取り組み、産別等からの紹介により、ともに労済運動を担う協力団体・組合員の拡大をはかることができました。

2025年度 新規登録団体
サンドラッグプラス ユニオン (UA ゼンセン)
興津眺洋町内会
鳥取8丁目町内会
星が浦つつじ町内会

6. 社会課題解決に向けた取り組み

こくみん共済 coop の社会的課題の取り組みについて、北海道労済運動推進会議としても積極的に関わり賛同に基づく取り組みを展開しています。

(1) 子どもの成長応援プロジェクト (通年)

子育て中のパパ・ママへのサポートや子どもの成長を支えるための様々な活動を行っており、子どもの体力低下への課題対応として、こくみん共済こども保障タイプ加入1件につき、全国の児童館等へなわとび・長縄を1本寄贈しています。

2025年度 子どもの成長応援プロジェクト (職域分 なわとび寄贈予定数)

86本 (2025年11月25日時点) → 105本 (2026年2月27日時点)

(2) 7歳の交通安全プロジェクト (通年)

7歳の子どものが、他の年齢と比較し、突出して交通事故に遭いやすいというデータがあり、こくみん共済 coop では、交通事故を減らすための金沢大学との共同研究に加え、特設サイトでの発信等、子どもたちの安全を守る取り組みを行っています。

マイカー共済の見積り1件につき、全国の児童館等へ横断旗を1本寄贈しています。

2025年度 7才の交通安全プロジェクト (職域分 横断旗寄贈予定数)

605本 (2025年11月25日時点) → 973本 (2026年2月27日時点)
--

7. こくみんLife サポート・公式アプリの利用促進等の取り組み

公式アプリについて各ブロック推進会議や協力団体の執行委員会等における積極導入をはかりました。

あわせて、持続可能な社会実現の取り組みに向けた費用相当分を負担する「デジタル促進特別活動費」の活用周知をはかっています（事前に協定書を締結し、アプリを新規ダウンロードのうえ、アプリからマイページへ初めてログインした件数1件につき、250円をお支払いするもの）。

加えて、新たなデジタル技術を活用した推進としてセット共済利用団体に対し、セット共済WEB更新システムの導入提案の取り組みも展開しました。

※2026年2月27日時点実績

2025年度 職域 公式アプリ導入者数
1,403件
※2024年度総登録件数 1,566件

デジタル促進特別活動費 協定締結総団体数
254団体

2025年度 セットWEB更新システム提案団体数/導入決定団体数
提案団体 179団体/うち導入決定団体 27団体

(参考) 支所別 2025年度アプリ登録件数進捗状況 (2026年2月27日時点)

拠点名	目標登録数	アプリ登録数	進捗状況
札幌支所	1,629	761	46.7%
小樽支所	269	21	7.8%
苫小牧支所	394	83	21.1%
室蘭支所	284	38	13.4%
岩見沢支所	150	22	14.7%
釧路支所	430	117	27.2%
北見支所	292	17	5.8%
帯広支所	306	72	23.5%
道北支店	665	214	32.2%
道南支店	441	58	13.2%
北海道推進本部	4,860	1,403	28.9%

Ⅱ. 2025 年度 重点共済の推進活動について

1. 生命系共済（こくみん・長期共済）の推進について

(1) 年間新規加入目標・進捗率

	目標	新規加入実績	進捗率
こくみん共済	950	594	62.5%
長期共済	1,000	871	87.1%
生命系共済 計	1,950	1,465	75.1%

※各共済の産別・ブロックごとの進捗状況については【別冊資料 P4～P5】参照

※以降、11p まで 1 月末時点実績を掲載、1 月末時点基準進捗率は 66.7%

産別・労組の協力のもと多くの接点機会を設けることができ、主にセット共済更新時や退職時・ライフイベント時における適切な保障提案を実践してきました。

生命系共済については、こくみん共済 coop が 2025 年 6 月から 8 月に展開した「2025 年度第 1 回北海道推進本部独自強化月間（生命系共済）」において、協力団体と連携した保障点検機会の創出をすることができ、適正保障の提案に繋がったことで目標達成ペースを上回る運動の拡がりが見てとれます。

(2) 産別・ブロック推進会議実績状況について

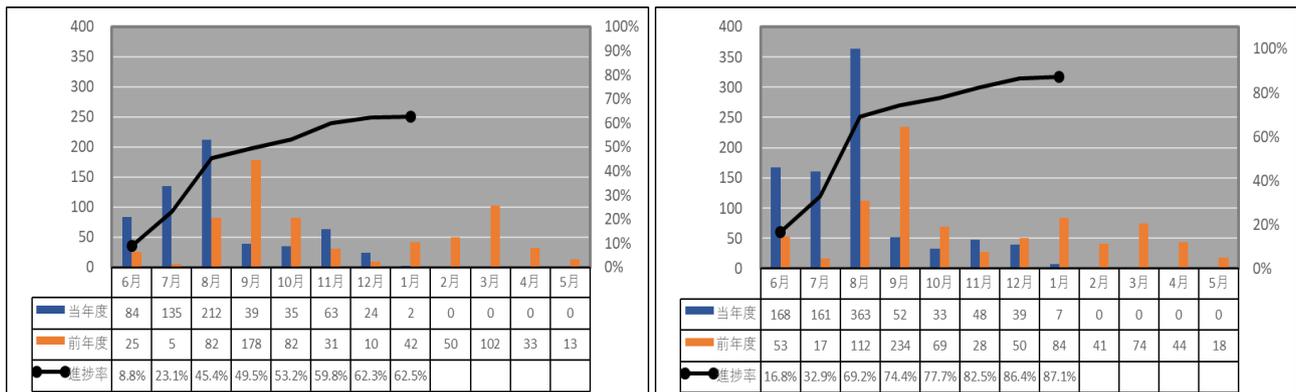
- ① こくみん・長期共済合計について、46 産別中 15 産別、地域では 17 ブロック中 9 ブロックが基準進捗率を上回る推移をしています。
- ② 各産別・構成単組にて、執行部との綿密な連携のもと、セット共済更新時における保障相談等、組合員との接点場面を設けることができたことが成果に結びつきました。特に、「保障」と「貯蓄」の両方の備えをすることができる商品である「せいめい共済掛金一律プラン」の推進成果が挙げられています。

(3) 「2025 年度第 3 回北海道推進本部独自強化月間（生命系共済）」進捗状況について

2026 年 2 月から 4 月にかけて物価高騰などの社会情勢をふまえ、各協力団体とともに生活保障設計運動の前進・強化による保障の最適化や可処分所得の向上による組合員の豊かな暮らしのサポートをすることを目的とした取り組みを展開しています。

取り組み状況として目標 1,038 件に対し、95 件の新規加入、目標進捗率 29.2% に対し 9.2% にて進捗しています。(2026 年 2 月 27 日時点)

(参考) こくみん共済（左表）・長期共済（右表） 2025 年度単月進捗表・前年同月対比表



2. 自動車総合補償（マイカー・自賠責共済）の推進について

（1）年間新規加入目標・進捗率

	目標	新規加入実績	進捗率
マイカー共済	1,000	558	55.8%
自賠責共済（新規）	1,900	1,252	65.9%
自賠責共済（継続）	1,366	752	55.1%
自賠責共済 計	3,266	2,004	61.4%

① マイカー共済

協力団体における交通安全運動等と連携をはかった「7歳の交通安全プロジェクト」の展開に加えて、団体割引を活用した可処分所得向上の取り組みを進めています。

1月末時点においては、年間目標達成ペースを下回っているため、3月から5月の車購入数が多いとされているこの期間に、マイカー共済の見積取得などの取り組み強化をはかる必要があります。

② 自賠責共済

産別・単組・支店推進会議・ブロック推進会議が一体となり、協力団体を通じ、執行部を始めとした組合員の車検満了データの集約や、既契約者に対する車検満了前からの早期かつ複数回の確実な要請活動を展開し、契約締結までの着実な取り組みは運動として定着してきました。

1月末時点において、年間目標ペースを若干下回っています。各ブロックの継続率に差があるため、協力団体とともに引き続き継続自賠責共済推進をはかるとともに、現在の車検繁忙期における新規自賠責共済の取り組みを展開していく必要があります。

（2）産別・ブロック推進会議実績状況等について

- ① マイカー共済では産別は10産別、地域では6ブロックが、自賠責共済では新規・継続総計で7産別、5ブロックが基準進捗率を上回る推移をしています。
- ② 「7歳の交通安全プロジェクト」を展開したマイカー共済見積り取得活動の成果として、「私鉄総連」において2025年3月から2026年2月にて総計255件もの見積りを集めることができた取り組みとなりました。

（3）「暮らしを応援！くるまの補償点検キャンペーン」進捗状況について

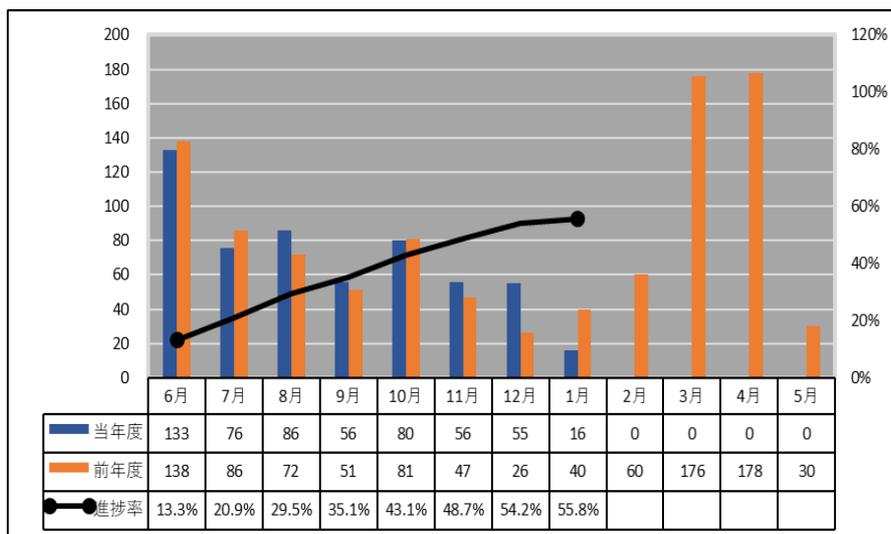
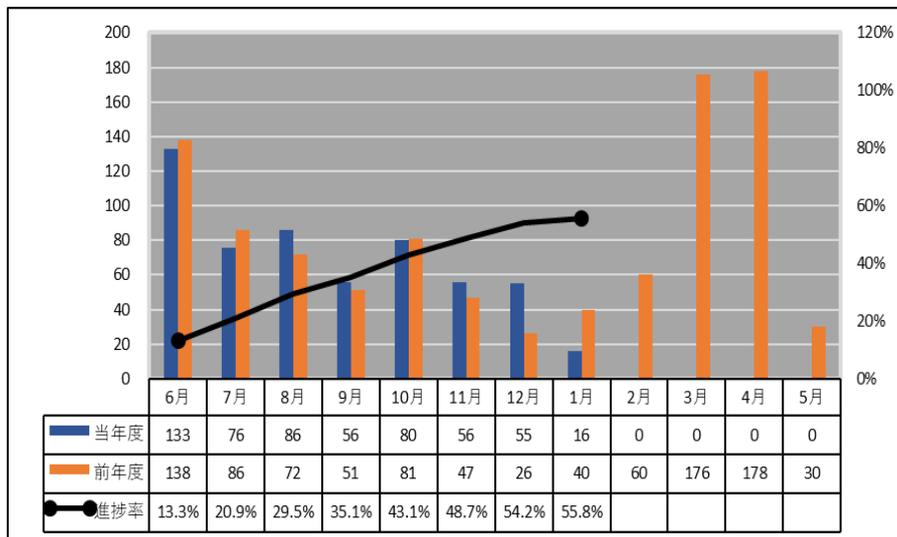
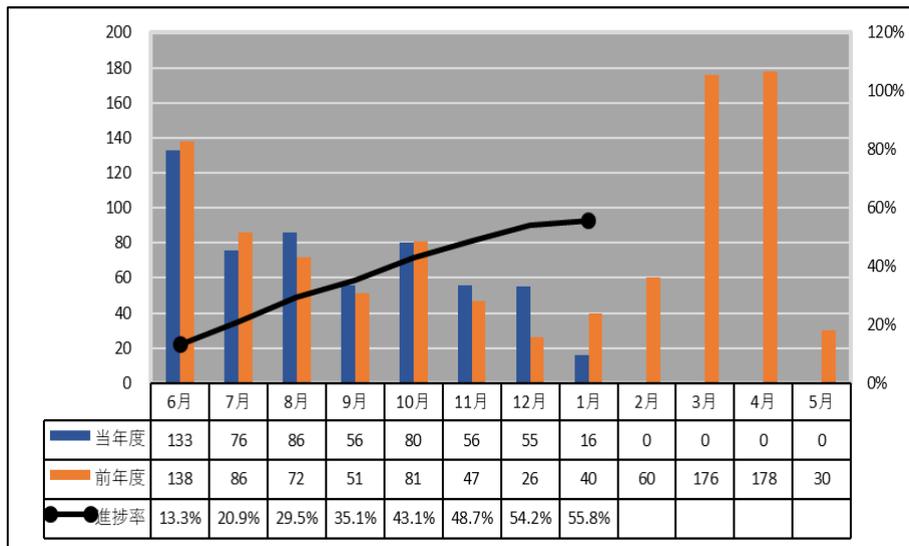
2026年2月から4月にかけて長引く物価高騰において組合員が抱える生活不安にしっかりと寄り添うとともに、万が一の際に備えた適正な補償の実現をサポートしていくために「暮らしを応援！くるまの補償点検キャンペーン」を展開しています。

取り組み状況として目標649件に対し、108件の新規加入、目標進捗率29.2%に対し16.6%にて進捗しています。（2026年2月27日時点）

(参考) 6～1 月継続データ各拠点別継続率 (2026 年 1 月末時点) 【2025 年度目標継続率 68.3%】

拠点名	ブロック	対象継続件数	継続	未継続	継続率
札幌支所	石狩ブロック	289	173	116	59.9%
小樽支所	後志ブロック	35	19	16	54.3%
室蘭支所	西胆振ブロック	49	28	21	57.1%
苫小牧支所	日高ブロック	47	24	23	51.1%
	東胆振ブロック	27	18	9	66.7%
岩見沢支所	空知ブロック	40	26	14	65.0%
釧路支所	釧路ブロック	87	49	38	56.3%
	根室ブロック	44	35	9	79.5%
帯広支所	十勝ブロック	140	78	62	55.7%
北見支所	網走ブロック	130	87	43	66.9%
道北支店	上川中ブロック	58	42	16	72.4%
	上川南ブロック	24	17	7	70.8%
	上川北ブロック	60	33	27	55.0%
	留萌ブロック	30	21	9	70.0%
	宗谷ブロック	22	17	5	77.3%
道南支店	渡島ブロック	141	87	54	61.7%
	檜山ブロック	58	33	25	56.9%
総計		1,281	787	494	61.4%

(参考) マイカー共済 (上表)・新規自賠責共済 (中表)・継続自賠責共済 (下表)
 2025年度単月進捗表・前年同月対比表



3. 住まい共済（火災・自然災害共済）の推進について

(1) 年間新規加入目標・進捗率

	目標	新規加入実績	進捗率
火災共済	1,250	992	79.4%
自然災害共済	850	593	69.8%

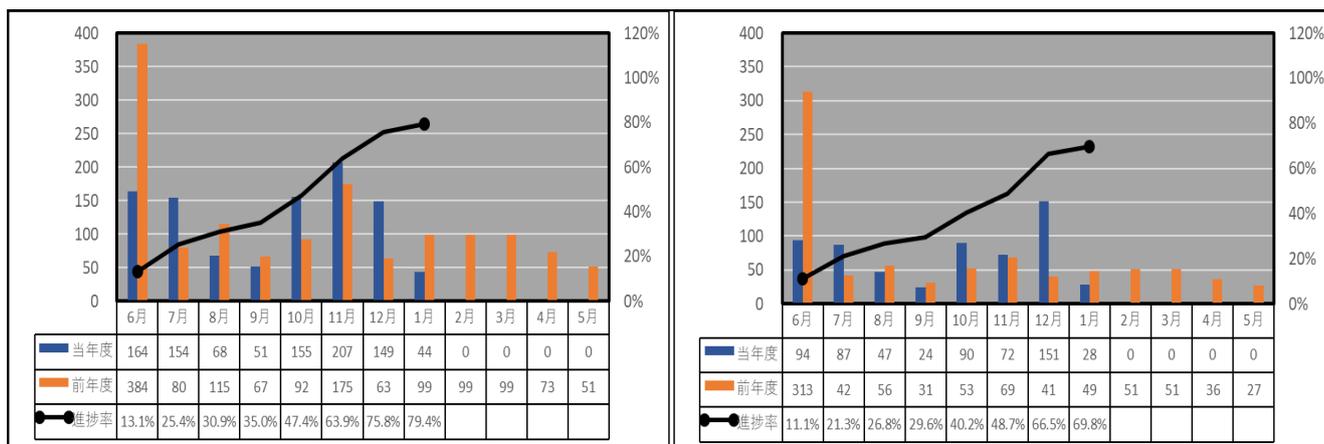
協力団体とともに頻発する自然災害に対する備えの重要性と現在の契約内容を点検する必要性について説明し、大規模災害被災時の生活再建に資することで組合員とその家族の生活を守る取り組みとして「2025年度第2回北海道推進本部独自強化月間（住まい共済）」を10月から12月かけて実施しました。

結果、広く多くの組合員を対象とした周知活動やアンケート収集による最適保障提案を行うことができ、火災・自然災害共済ともに年間目標達成ペースにて進捗推移しています。

(2) 産別・ブロック推進会議実績状況について

火災共済では13産別・9ブロック、自然災害共済では10産別・10ブロックが基準進捗率を上回る推移をしています。

(参考) 火災共済（左表）・自然災害共済（右表） 2025年度単月進捗表・前年同月対比表



Ⅲ. 2025年度 今後の推進活動について

1. 重点共済の推進対策（支店推進会議・ブロック推進会議との連携強化）

各産別におけるタテ連携に加えて支店推進会議・ブロック推進会議におけるヨコ連携を加えた取り組みの展開をはかります。

また、こくみん共済 coop の設定する各共済の強化月間を推進の山場とし、人・家・車等全ての保障分野の総合提案により、重点共済各種共済の目標達成をはかります。

今後セット共済（団体生命・住まいる・交通災害共済）の更新を迎える協力団体には更新とあわせた推進提案を予定しています。セット共済更新後もしくはセット共済を利用していない協力団体については、強化月間等において各組合員のお役立ちに繋がる取り組みを要請します。

（1）生命系共済（こくみん・長期共済）推進

既契約者を起点とした複合的な保障や家族・世帯を意識した総合的な提案を進め、運動の前進を目指します。

特に、マイカー共済等すでに他の共済に加入している組合員に対して、トータル保障の提供をしていくことを目的とした「複合推進」を行いながら保障設計運動の前進をはかります。

また、若年層組合員や子どものいる組合員に対して、将来に対する備えをしていくことのできる貯蓄性商品の推進を積極的にはかります。

	取り組み施策等
1	貯蓄性商品の推進
2	こどもの成長応援プロジェクトの協賛要請をとおした「こども保障タイプ」の推進
3	他共済に加入している組合員への「トータル保障」を目的とした「複合推進」
4	終身生命共済・個人年金共済の前納掛金割引利率改定をふまえた取り組み
5	2025年度第3回北海道推進本部独自強化月間（生命系共済）の展開（2月～4月）

（2）自動車関連補償共済（マイカー・自賠償共済）推進

物価高騰により一層高まる組合員の可処分所得向上の期待に応えられる掛金優位性を協力団体と連携をはかりながら組合員に丁寧に周知していく取り組みの展開をしていきます。

加えて、マイカー共済の良さを組合員に体験してもらうために「見積り取得運動」も積極的に展開していきます。

また、マイカー共済とのセット取り組みとして自賠償共済予約票収集と継続対策を強化します。年間目標の達成のためには、通年での新規実績の積み上げと継続率 68.3% 目標の達成が必須となります。その他、組合員サービスとしての指定整備工場への利用促進をはかります。

	取り組み施策等
1	適用団体割引率の周知活動
2	7歳の交通安全プロジェクトの協賛要請と見積り収集活動
3	自賠償共済年間満期者リストの共有による漏れのない継続対策
4	他共済に加入している組合員への「トータル保障」を目的とした「複合推進」
5	「暮らしを応援！くるまの補償点検キャンペーン」の展開（2月～4月）

(3) 住まいる共済（火災・自然災害共済）推進

自然災害が頻発している状況をふまえ、労働者福祉運動の原点共済である住まいる共済の更なる普及促進をはかります。

また、北海道は雪害等の冬季間被害が全国的にも多い地域であるにも関わらず、火災共済に対する自然災害共済の付帯率は低い特徴があります。（2025年11月末時点47推進本部中45位）

については、「2025年問題」と呼ばれる10年間の長期火災保険に加入されている組合員への保障の見直しの必要性周知に努めるほか、東日本大震災から15年をむかえる年度であることから、防災減災の担い手づくりの取り組みとして、防災士資格を持つ職員による防災減災セミナーの開催等啓発活動をとおり、労済運動を上げていきます。

取り組み施策等	
1	自然災害共済・特約（個賠・類焼）の必要性訴求活動の展開
2	防災士による有益情報の積極提供や各種施策の展開
3	家財保障全員加入による組織保障拡充の提案活動
4	長期火災保険の2025年問題を契機とした保障点検活動

※こくみん共済 coop では防災減災活動の普及実践のため、職員の防災士資格の取得活動を進めており、2026年2月27日現在の有資格者数は69名になります。

(参考) ブロック別自然災害共済付帯率（職域契約の自然災害共済契約件数／火災共済契約件数）

※2025年9月から2025年12月の付帯率推移

ブロック	付帯率推移	ブロック	付帯率推移
石 狩	51%→52% ↑	根 室	76%→76% -
後 志	38%→38% -	上 川 中	40%→40% -
西 胆 振	43%→43% -	上 川 南	47%→47% -
東 胆 振	58%→59% ↑	上 川 北	39%→39% -
日 高	58%→58% -	留 萌	61%→62% ↑
空 知	61%→62% ↑	宗 谷	49%→49% -
釧 路	69%→69% -	渡 島	65%→65% -
十 勝	68%→68% -	檜 山	67%→67% -
網 走	43%→43% -	北 海 道	46%→47% ↑

2. 生活保障設計運動（団体生命共済）等の取り組みについて

団体生命共済における「一律加入制度」については、病気療養中の組合員を含め全組合員が加入することが出来る「助け合い」の制度です。

協力団体とともに組合員が必要としている保障ニーズを汲みとったうえで、組合員の福利向上の観点からも団体生命共済一律や各種特約付帯の取り組み要請を実施していきます。

また、新たな取り組みとして「セット共済 WEB 更新システム」の提案活動をすすめ協力団体の負担軽減をはかりつつ、さらなる組織活動の前進の一助となる取り組みを展開します。

	取り組み施策等
1	一律加入・加入口数引き上げ・特約付帯等の提案活動
2	適正保障確保を目的とした保障相談による任意加入・増口提案・特約付帯の推進
3	セット共済 WEB 更新システムの取り組み提案活動

3. 離退職者に対する取り組み・新入組合員に対する取り組み

（1）離退職者推進

生涯に渡って安心を提供していく観点から、離退職者に対するセカンドライフをふまえた適正な保障点検活動ならびに確実な個人契約への移行案内について、重点課題として位置付け着実な取り組みを継続します。

	取り組み施策等
1	労働組合と連携した退職情報の事前把握による確実な提案活動
2	退職後に必要な適正保障の説明を目的とした退職セミナーの開催
3	離退職予定者への個別面談によるきめ細かい説明機会の設定

（2）新入組合員推進

将来に渡って労済運動を支えていく新入組合員に対し、労組と連携のうえ、労働組合活動としての共済活動理解促進とあわせ、新入組合員がより豊かな新生活を送ることができるよう、お金や保障に関する有益な情報提供や無保障者をなくす取り組みを展開します。

	取り組み施策等
1	労働組合と連携した新入組合員情報の事前把握による説明機会の設定
2	労働組合との関係性や共済の成り立ち、保障に関する基本的な知識、保障の必要性等の説明を目的とした新入組合員セミナーの開催

4. 領域拡大への取り組み

労済運動の維持・拡大に向けては未取り組み団体への取り組みが重要な課題であることから、引き続き産別・単組・ブロック推進会議・ブロック労福協と連携し、未利用団体の新規利用、共済利用の少ない団体の利用拡大に向けた取り組みを要請していきます。

特にマイカー共済の割引率が拡大した産別の加盟組織への新規利用促進をはかります。

5. 連合スクラム共済の取り組み

連合北海道・連合各地協・地区連合・ブロック推進会議等労済運動に関わる総体として引き続き「連合スクラム共済」の加入拡大を目指し、各産別への要請活動の継続とともに、連合各地協・地区連合との連携によるエリア内の産別・単組への取り組み要請活動を展開します。

6. こくみんLife サポート・公式アプリの利用促進等の取り組み

従来の組合員一人一人に寄り添った最適な保障設計をサポートする「保障設計サポート」に加え、組合員特典価格等でもしもの事前・事後の生活全般をサポートする「生活保障サポート」を展開し、組合員のくらしをサポートします。

7. 2025 年度取り組み・会議日程

(1) 強化月間等の取り組み日程

以下のとおり、各種取り組みの予定をしています。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
人の保障	強化月間								強化月間			
家の保障					強化月間							
車の補償									キャンペーン			

※各共済等の取り組み状況によって、別途強化月間等の取り組みを検討します。

(2) 2025 年度北海道労済運動推進会議日程

- ・2025年6月19日 第1回北海道労済運動推進会議
- ・2025年12月8日 第2回北海道労済運動推進会議
- ・2026年3月9日 第3回北海道労済運動推進会議
- ・2026年6月予定 2026年度 第1回北海道労済運動推進会議

Ⅳ. 2025 度 北海道労済運動推進会議 役員体制について

2025 年度「北海道労済運動推進会議」幹事会の幹事体制は以下のとおりです（敬省略）。

役 職	選出団体	氏 名	役職名
議長	北海道労福協	高倉 司	副理事長兼事業推進本部長
副議長	連合北海道	海野 淳	総務財政局長
事務局長	北海道労福協	紺野 則仁	副理事長兼事務局長
事務局次長	北海道労福協	斉木 孝也	事務局次長
事務局次長	北海道労福協	高尾 淳	事務局次長
事務局次長	こくみん共済 coop 北海道推進本部	高橋 朋広	事業推進部 組織・居住域担当部長
幹事（産別代表）	自治労北海道本部	谷井 悦彦	臨時執行委員
幹事（産別代表）	全開発労組	齋藤 航太郎	書記長
幹事（産別代表）	私鉄総連北海道地方労組	加藤 裕幸	執行委員長
幹事（産別代表）	紙パ連合北海道地方本部	齊藤 昌克	副執行委員長
幹事（支店代表）	道央支店	日西 和広	連合胆振地協 会長
幹事（支店代表）	道東支店	武田 研二	連合網走地協 事務局長
幹事（支店代表）	道北支店	下山 貢司	私鉄総連道北バス支部 委員長
幹事（支店代表）	道南支店	川口 勝也	連合渡島地協 副会長
幹事（退職者連合）	北海道退職者連合	真壁 英治	事務局長

<そ の 他>

「2025 年度第 3 回北海道推進本部独自強化月間」(生命系共済) および「暮らしを応援！くるまの補償点検キャンペーン」について

2026 年 2 月から 4 月にかけて生命系共済の取り組みとして「2025 年度第 3 回北海道推進本部独自強化月間」(生命系共済)を、マイカー共済の取り組みとして「暮らしを応援！くるまの補償点検キャンペーン」を展開しています。

取り組み内容等詳細な内容につきましては、【別冊資料 P6～7】を参照ください。



